

留学先の活動計画発表

おやかやま
心援事業 大学生3人壮行会

留学先での活動計画を発表する学生



岡山県や岡山経済同友会などが大学生らの海外留学を後押しする「未来へトビタテ！ おかやま留学応援事業」の壮行会が6日、岡山市内で開かれた。選考で本年度の支援対象に決まった県内の学生が留学先での活動計画を発表した。

学生は岡山大2人、県立大1人の計3人で、それぞれ今月中旬以降、米国や韓国に最長11カ月滞在する。壮行会には関係者約40人が出席。米ノースカロライナ大で観光学と経営学を学ぶ岡山大グローバル・デイスカバリー・プログラムの谷星那さん(20)は、真庭市のご当地グルメ「ひるぜん焼

そば」の調理や浴衣の着付けを現地の学生に体験してもらった。岡山県の観光資源が外国人の目にとどまるか知り、将来、観光業界で岡山の認知度をアップに貢献したい」と話した。

事業はグローバル人材の育成を狙いに2015年度、国の事業としてスタート。21年度から県単位の産学官連携事業に移行した。派遣は県内の大学生や県出身者が対象で、本年度は9人の応募があった。県内の21社・団体の協賛金約600万円を原資に留学費用の一部を支給する。

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。